

第3次千葉県青少年総合プラン 令和3年度事業評価シート

事業NO	36
事業名	グローバル人材プロジェクト事業
担当課・室・班名	教)学習指導課
問合せ先(電話番号)	4060

1 事業の概要

柱	I	基本目標	2	基本方策	③子ども・若者の社会参加の促進					
事業内容	高等学校を対象に、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成することを目的として、そのための質の高いカリキュラムの開発やその体制整備を推進するとともにその啓発を図る。 外国語教育を充実させ、小・中・高等学校を通じた系統性のある英語教育で、コミュニケーション能力等を確実に養い、グローバル化に対応した人材の育成を目指す。									
当初予算額(千円)	H30年度	44,612	R元年度	44,683	R2年度	27,067	R3年度	18,565	R4年度	22,020
決算額(千円)		28,102		19,424		2,715		1,685		
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
		国庫		国庫		国庫		国庫		国庫

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・小学校の英語専科教員向け、中・高等学校の英語科教員の指導力等を高めるための研修については、対面実施ではなくオンライン研修に切り替えて実施することができた。
 ・公立中学校及び県立学校等に、英語の発音等の技能を身に付けさせる学習支援ソフトを導入し、活用を促した。
 ・県立中学校2校、英語教育拠点校2校にAIと英語で会話できる学習支援ソフトを導入し、ICTを活用した授業改善の研究を行った。
 ・パフォーマンステスト作成ワーキンググループを発足させ、中学・高校で使用できる実践事例集を作成し、県内の学校に周知した。

(2)事業の成果

・各研修では、オンライン実施に切り替えた結果、研修を中止することはなく、内容を一部変更しながらも実施することができた。
 ・パフォーマンステスト実践事例集の作成では、中学校で10問、高校で11問の事例を作成し、県のHPIにて全国の自治体に向けて情報発信することができた。
 ・英語の発音等の技能を身に付けさせる学習支援ソフトの活用について、2つの教育事務所で使用状況で100%を達成し、有効活用することができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・学習指導要領の理解及び授業改善に向けた研修を継続的に行うとともに、各学校が適切に「話す力」を評価できるようパフォーマンステスト例を作成していく。
 ・小・中・高等学校の連携を促進するために、モデル校を設定し研究を行う。
 ・学習支援ソフトを効果的に活用できるよう好事例を周知していく。

○参考

関連指標						目標	
	現状(基準年H28)	H30	R1	R2	R3	R4	

4 委員意見